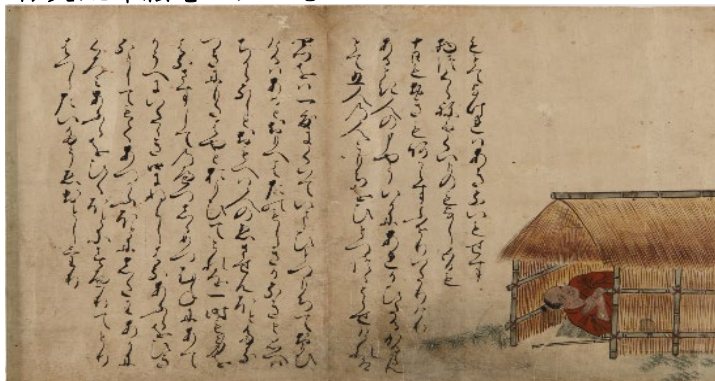


貴重図書展示「絵で見る古典」

期間：2024年7月2日（火）～9月30日（月）
場所：中百舌鳥図書館1階貴重図書展示ケース

ものぐさたるうえまき
物臭太郎絵巻 写 一卷



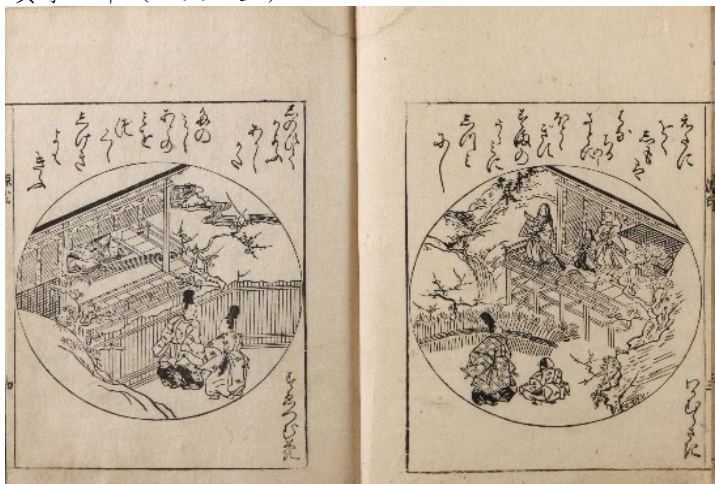
室町時代物語。もと冊子本であったものを巻子に改装したもので、六十一紙を継いでいるが、そのときの錯簡、落丁が見られる。

いぶき 刊 一冊
寛永九年（一六三二）



舞の本。整版丹緑本。幸若舞曲の刊本に古活字本と整版本があり、挿絵のあるものもないものがある。寛永頃に整版十行本が三十六番揃本として刊行されたが、本書はそれと同版。

げんじやまとえかがみ
源氏大和絵鑑 刊 二冊
貞享二年（一六八五）



菱川師宣の絵になる。『源氏物語』の各巻から一つずつ古来有名な場所を選んで絵にし巻名とその由来等を記す。

うたいほん まつかぜ
謡絵本 松風 写 一冊



外題には「謡曲 松風」とあるが、謡曲の『松風』をもとに奈良絵本風に仕立てたもの。江戸時代初期、寛永期の作例と見られる。写実的な絵もあるが、潮波み車などは舞台上で用いられる作り物を写しているらしく、江戸時代初期の『松風』の舞台をある程度反映していると考えられる。

いわやのそうし
岩屋草子 写 横一冊



室町時代物語。奈良絵本。継子いじめ型の恋愛物語で、諸本に異同が多い。本書には六枚の奈良絵が収められている。

せんめんたんごずかい
扇面単語図解 楮紙扇面 一枚
明治六年（一八七三）

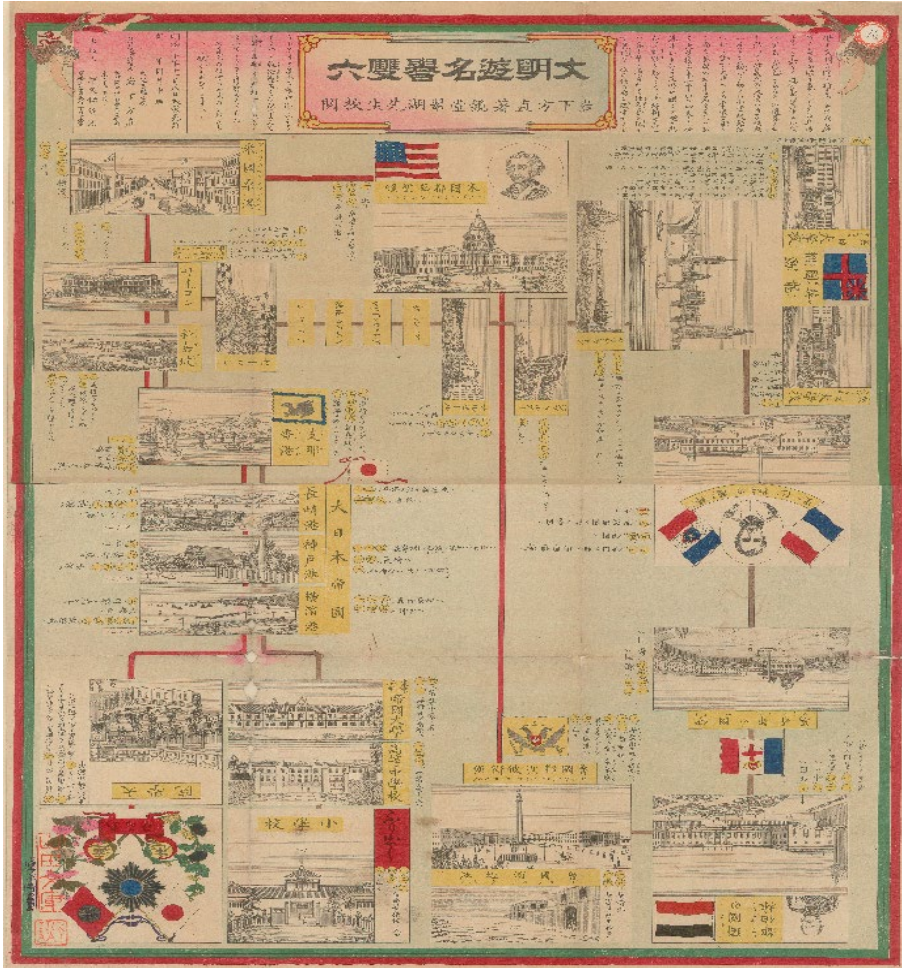


えほんことりつがい
画本古鳥図賀比 刊 一冊
文化二年（一八〇五） 松屋耳鳥齋筆



大坂の絵師耳鳥齋（にちょうさい）による絵本。「祝儀」「不祝儀」や「大胆者」「臆病者」など対立する項目を風俗画として描いたもの。

ぶんめいあそびいよすごろく
文明遊名誉双六 一枚
明治二十年（一八八七）



小学校を終えた子供が各国の首府をめぐる学位を得るまでの次第をしくんだ、当時として目新しい出世双六。東京本郷帝国大学、オクスフォード大学、伯林、カイゼルなどを銅版で印刷し、その上から部分的に木版で色彩がつけてある。

かい かいんじゅんうはつかがみ
開化因循興発鏡 三面 一枚
昇翁一景画



三枚の続き画で、開化期の風俗の交代を、県下の様子に描いたもの。図柄は大体、和洋装束で顔に品物を代えて描かれた人物の県下の図で、外来のものがそれまでのものにとってかわる模様を描く。ただし、「日本米」が「なんきん米」に、「日本あふら」が「南京油」に勝っており、「日本酒」「会席御料理」の組は「せいよう酒」「西洋御料理」の組と互角である。